



# 学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和8年4月7日発行



電話 811-6773 FAX 813-9438

## そのままがいい… 多様性が力になる学校に

校長 柿崎 順子

令和8年度が始まります。今年度は新入生216名を迎え、全校生徒610名での出発となりました。また、8名の教職員の皆様が去られ、10名の教職員が着任しました。新たなメンバーを加え、これまでの秋葉中学校のよさを引き継ぎながら、さらなる発展を目指して、教育活動を推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、春休み中に「ナマケモノは、なぜ怠けるのか？」(著 稲垣栄洋)という本を読みました。ナマケモノだけではなく、ナメクジやダンゴムシ、イルカなどの動物や、オナモミやタンポポといった植物のことが、短い文章で紹介されている本です。

そして、どの文章も最後は「そのままがいいんだよ」というフレーズで終わっています。

殻のあるカタツムリも殻のないナメクジも、そのままがいいんだよ  
歩みの遅いカメさんも、そのままがいいんだよ  
寝てばかりいるナマケモノも、そのままがいいんだよ

自然界には、実にさまざまな生き物がいます。

大きいもの、小さいもの、動きの速いもの、動きの遅いもの…。

しかし、こうした違いにはすべて、これまで生き抜いてくることができた理由があります。

ゾウの鼻が長いのも、チーターの足が速いのも、

それがその生き物にとっての「正解」だからです。

そのため、鼻の短いゾウや、足の遅いチーターはいないのだそうです。

では、なぜ人間には個性があるのでしょうか。

チーターのように、人類みんなが同じ能力をもつよりも、それぞれ違っている方がよい

それが人間の進化であり、「多様性」こそが人間の強さなのだそうです。

ライオンのように強くもなく、チーターのように速くもない人間が生き残ることができたのは、言葉を使い、知恵を出し合い、助け合って困難を乗り越えてきたからだといわれています。

「そのままがいい」という言葉は、「何もなくていい」という意味ではありません。

生徒の皆さんには、自分らしさを大切にしながら自分自身を磨くと同時に、友だち一人一人の強さや弱さも認め合い、助け合える仲間になってほしいと願っています。

私たち教職員も、それぞれの強みを生かし、足りないところは補い合いながら、

子どもも大人も安心して学び、学校に行きたくなるような学校づくりに励んでまいります。

また、お子様の健やかな成長のためには、保護者の皆様と教職員が同じ方向を向き、手を取り合って進んでいくことが大切だと考えています。パートナーとして協力しながら、教育活動を進めていけましたら幸いです。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

地域の皆様には、日頃より秋葉中学校を温かく支えていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。今年度も引き続き、ご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。